



平成 30 年 7 月 12 日

各 位

会 社 名 東洋電機製造株式会社  
代表者名 代表取締役社長 寺島 憲造  
(コード番号 6505 東証第 1 部)  
問合せ先 経営企画部長 大塚 貴敏  
(TEL 03-5202-8122)

### 平成 30 年 5 月期 通期連結業績予想と実績の差異並びに特別利益および特別損失の計上に関するお知らせ

平成 30 年 1 月 11 日に公表いたしました平成 30 年 5 月期の連結業績予想と、本日公表の同期実績に差異が生じたのでお知らせいたします。また、下記のとおり、特別利益および特別損失を計上いたしましたので併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 30 年 5 月期連結業績予想数値と実績の差異（平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 41,000	百万円 1,300	百万円 1,450	百万円 1,500	円 銭 158.24
実 績 値 (B)	42,527	366	515	692	73.33
増 減 額 (B - A)	1,527	△934	△935	△808	
増 減 率 ( % )	3.7	△71.8	△64.4	△53.9	
(参考) 前期実績 (平成 29 年 5 月期)	百万円 40,668	百万円 1,571	百万円 1,663	百万円 1,174	円 銭 123.87

#### 2. 差異が生じた理由

平成 30 年 5 月期の連結売上高は、産業事業で昨年 12 月 1 日付け営業推進体制の変更の成果が具体化し、情報機器事業で受注が堅調であったことなどから前年を上回る売上を計上でき、平成 30 年 1 月 11 日にお知らせした公表値に近い実績値となりました。一方、連結営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、交通事業の一部海外向け案件や、産業事業の市場拡大を企図して注力した自動車開発用試験機で開発要素が多い案件が重なったことから、売上が集中する第 4 四半期に想定していた以上に原価が増加したことと、本年 2 月から開始した産業事業の「滋賀竜王製作所」への生産統合の過程で一時的に生産能力が低下したことが加わって、連結業績予想を下回る実績値となりました。

#### 3. 特別利益（投資有価証券売却益）の内容

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、投資有価証券売却益 8 億 6 百万円を特別利益に計上いたしました。

#### 4. 特別損失の内容

##### (1) 工場統合費用

当社産業事業および㈱ティーディー・ドライブの滋賀竜王製作所への統合に伴う費用3億39百万円を特別損失に計上いたしました。

##### (2) 創立100周年記念事業費用

創立100周年記念事業費用18百万円を特別損失に計上いたしました。

以 上